

# 2025(令和7)年度 名古屋大学基金 会計報告

2025年度の名古屋大学基金の寄附受入金額は654,452,441円となりました。  
皆様よりあたたかいご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

## ■ 2025年度の寄附受入状況

◇寄附金合計額【現金寄附】：508,557,941円

◆寄附金合計額【物納、有価証券等を含む】：654,452,441円

### ①法人と個人の内訳

法人からの寄附、個人からの寄附についての内訳は以下の通りです。

分類	法人			個人								合計
	企業	その他	小計	職員	退職職員	在学生	卒業生	在学生の保護者	卒業生の家族	一般	小計	
寄附件数(件)	111	12	123	71	76	28	957	262	168	303	1,865	1,988
寄附金額(千円)	105,528	2,238	107,766	12,870	6,455	895	55,809	13,030	75,870	381,757	546,686	654,452

### ②基金本体と特定基金

基金本体と特定基金の寄附状況については、以下の通りです。

分類	寄附件数(件)	寄附金額(千円)
基金本体	680	441,753
特定基金	1,308	212,699
合計	1,988	654,452

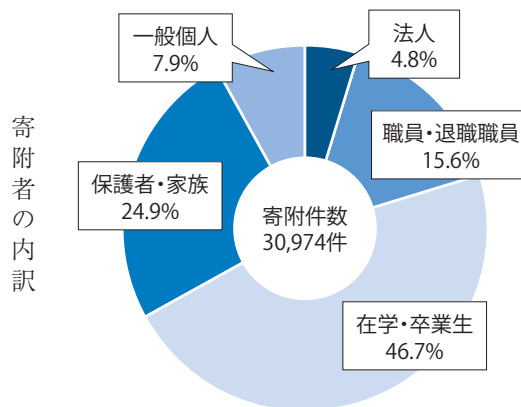
## ■ 2005年度～2025年度の寄附累計受入状況

◇寄附総額【現金寄附】：11,003,615,621円

◆寄附総額【物納、有価証券等を含む】：

23,858,345,719円

◆寄附件数【物納、有価証券等を含む】：30,974件



## ■ 2025年度 名古屋大学基金事業収支状況

### 《収入》

(単位：千円)

区分	金額
当期運用益による収入	343,692
(資金運用益)	216,602
(株式等の配当金)	127,090
名古屋大学基金戻入分からの収入	5,292
合計	348,984

### 《支出》

(単位：名、千円)

区分	支援数	金額
学生支援(奨学金、留学支援等)	355	238,345
研究支援(若手研究者雇用経費等)	8	40,159
その他(教職員顕彰等)	1	5,000
名古屋大学基金への戻入	—	65,480
合計	364	348,984

## ■2025年度 特定基金事業総括

特定基金とは、研究推進や人材育成など、支援目的を特定してご寄附いただける事業です。

特定基金事業の寄附受入件数、寄附受入額、執行額については以下の通りです。

事業名 支援事業の内容／お問い合わせ先	2025年度 事業報告			
	寄附件数 (件)	受入額(千円) ※下段は累計額	執行額(千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
<b>工学部・工学研究科支援事業</b> 日本の将来を担う学生が思う存分、勉学や研究に専念できるよう奨学金による経済的支援や、若手研究者の育成支援事業等を行います 工学基金事務局 ☎ 052-789-3404 ✉ kou-kikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	134	7,680 115,291	7,580 48,570	<b>【実績】</b> 博士後期課程入学者のうちの希望者全員（留学生を含む該当者94名）に70千円を支給 若手研究者支援：1,000千円（2名分）
<b>青色LED・未来材料研究支援事業</b> ノーベル物理学賞を受賞した天野浩教授のもと、省エネルギー社会の実現に貢献する研究のサポートや学生への奨学支援を行います 青色LED・未来材料研究支援事業事務局 ☎ 052-747-6728 ✉ cirfekikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	90	25,432 238,554	19,525 121,298	<b>【実績】</b> 研究設備、消耗品：2,723千円、人件費：6,168千円、知的財産管理費：1,228千円、学生海外派遣助成：3,242千円、オンライン英会話補助：957千円、学生奨学支援：5,207千円
<b>アジア法律家育成支援事業</b> アジアと日本を架橋するグローバルリーダーの育成のため、日本人学生・外国人留学生の法学・政治学教育、研究交流を推進します 支援事業事務局 ☎ 052-789-4901 ✉ asia-kikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	15	1,487 24,268	1,561 9,426	<b>【実績】</b> 「名古屋大学ユス・コムーネ賞」の受賞者の選考、及び受賞式・論文発表会を開催 補助実施事業として、留学生支援のための論文執筆補助（論文校閲）事業及び法学研究科モンゴル同窓会記念事業に対し一部支援を実施
<b>女性リーダー育成支援事業</b> 女子学生・院生、女性研究者の育成支援により、高い志と強い使命感を併せ持つ女性リーダーを育成します 男女共同参画事務局 ☎ 052-789-3939 ✉ kyodo-sankaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	23	192 6,401	0 0	<b>【実績】</b> 女性研究者の育成支援（研究費支援、シェア秘書・研究支援員雇用支援、英文校閲費用助成事業）、女子学生・院生の育成・支援（理系女子学生コミュニティ「あかりんご隊」活動支援）、多様性戦略アドバイザーの設置等事業を外部資金で実施。 <b>【計画】</b> 今後、外部資金等他の財源による支援が困難となった際に、本基金を活用して支援・活動の継続を行う。
<b>経済知識人育成支援事業</b> 教育・研究活動スペースの環境整備や学部生・大学院生への学修支援を通じて、経済知識人に求められる資質を備える人材の育成に取り組みます 経済学特定基金事務局 ☎ 052-789-4920 ✉ keizai-kikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	32	2,547 77,409	1,234 35,419	<b>【実績】</b> キタンホールの照明設備交換費：460千円、学修支援（学生旅費）：90千円、成績等が優秀でありながら、学部での修学が困難な者に対し、その学修等の活動を奨励することを目的とする奨学金：600千円、図書館の空調改修工事実施に伴う図書移設費：84千円
<b>医学系未来人材育成支援事業</b> 学生、院生、若手研究者らの教育・研究環境の改善、充実を進めるため、学生教育環境整備事業、若手研究者支援事業を展開します 支援事業事務局 ☎ 052-744-1901 ✉ med-kikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	65	5,848 520,734	19,135 53,464	<b>【実施】</b> 学修支援事業として、成績等が優秀で、経済的理由により修学が困難な学生8名へ奨学金として計5,000千円を支援。 ジョイント・ディグリー・プログラム奨励金として、3名を支援。スキルラボ備品等、学習教育環境整備を実施した。
<b>名古屋大学「大学発ベンチャー応援事業」</b> 起業支援と起業家育成を担う「Tongali」で、ベンチャー支援のさらなる充実と拡大を目指します Tongali 事務局 ☎ 052-747-6490 ✉ tongali@aip.nagoya-u.ac.jp	18	20,742 175,351	5,615 54,038	<b>【実績】</b> モノづくりベンチャー活動支援金：1,815千円、ビジネスプランコンテスト：2,800千円、アイデアピッチコンテスト：1,000千円

事業名	2025年度 事業報告			
	支援事業の内容／お問い合わせ先	寄附件数 (件)	受入額(千円) ※下段は累計額	執行額(千円) ※下段は累計額
<b>医学部附属病院支援事業</b> 国立大学病院の使命として、患者さんへの診療サービスの向上と先進的な臨床研究の推進、充実を図ります 病院支援事業事務局 ☎ 052-744-1901 ✉ hosp-kikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	97	56,096 407,649	17,844 29,484	<b>【実績】</b> 患者サービスの向上及び診療環境の充実のため、計17,844千円を基金から支出。整備項目は以下のとおり。 オアシスキューブエリア植栽整備、外来棟1階中央待合ホールのビジュアルサインの整備、外来棟患者待合に車いす用の待機スペースを設置、PHRシステム「NOBORI」のシステム運用、オールジェンダートイレの表示、クラウド採血待合システム「Smart Lounge」導入
<b>名古屋大学附属図書館支援事業</b> 研究・教育の基盤として、次世代の若者を育てる教育や創造的な研究にかかる支援を行うとともに、地域の貴重資料の管理保存を実施し、社会に貢献します 支援事業事務局 ☎ 052-789-3666/3667/3668 ✉ tos-kikaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	83	3,809 60,419	2,339 28,762	<b>【実績】</b> 高木家文書の修理：1,203千円、中央図書館の設備整備：1,122千円、ROOTS BOOKS 棚主（コモネ）：14千円
<b>ジェンダー平等支援事業</b> 女性教員数を増やすとともに、意思決定を行う地位への女性の参画を拡充し、ジェンダー平等な大学を目指します 男女共同参画事務局 ☎ 052-789-3939 ✉ kyodo-sankaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	3	140 81,257	2,468 24,534	<b>【実績】</b> 女性教員増員策のために以下を執行 2019年増員策：228千円 2021年増員策：R6年度中間評価で目標数値を上回った7部局にインセンティブとして配分。各部局にて、女性教員の研究環境整備費として女性休憩室の設置や女性教員への研究費支援として2,239千円執行。
<b>農学部・生命農学研究科教育研究支援事業</b> 将来を担う学生の奨学金による経済的支援や、若手研究者の育成支援事業等を実施します 事務部 基金担当 ☎ 052-789-5266 ✉ agrkikin@agr.nagoya-u.ac.jp	68	8,755 163,420	5,529 45,476	<b>【実績】</b> 学生等への奨学金及び外国の大学等との教育研究交流、留学生への支援、講義室等の教育研究機器修理 <b>【計画】</b> 博士後期課程在籍学生への奨学金の給付：1,800千円（1名分）、天野エンザイム酵素一般研究助成：1,200千円（1名分）、奨励研究助成：1,200千円（2名分）
<b>次世代保健医療リーダー育成支援事業</b> 社会変化を見すえて人々の Well-being に貢献する次世代保健医療リーダーの育成と環境整備を支援します 支援事業事務局 ☎ 052-719-1504 ✉ shomul@met.nagoya-u.ac.jp	37	11,776 14,679	0 0	<b>【計画】</b> 学生教育環境整備事業及び若手研究者支援事業に執行予定
<b>トランスフォーマティブ生命分子研究所支援事業</b> 食糧・エネルギーといった世界的な問題の解決に向けて、最先端の分子合成化学と動植物生物学の革新的融合によって挑みます 特定基金事務局 ☎ 052-747-6901 ✉ kikin@itbm.nagoya-u.ac.jp	10	202 2,384	0 0	<b>【計画】</b> 若手研究者の研究支援に対して執行予定
<b>教育学部附属中・高等学校75周年記念国際化推進支援事業</b> 未来を拓く若者を育成するため、海外研修や交換留学などの双方向型の国際化推進活動を支援します 支援事業事務局 ☎ 052-789-2672/2680 ✉ nkf@highschl.educa.nagoya-u.ac.jp	36	1,919 13,421	256 662	<b>【実績】</b> 国際交流事業：256千円 附属学校高校生の海外派遣（姉妹校・新モンゴル高等学校訪問）
<b>創薬科学研究科支援事業</b> 健康長寿社会の構築に向け、次世代の創薬研究を担う人材を養成し、ヒトの健康・福祉に貢献します 事務室 基金担当 ☎ 052-747-6586 ✉ sou-jun@t.thers.ac.jp	19	159 7,722	0 173	<b>【計画】</b> 教育研究環境の整備に500千円

事業名 支援事業の内容／お問い合わせ先	2025年度 事業報告			
	寄附件数 (件)	受入額(千円) ※下段は累計額	執行額(千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
<b>理学部学生支援事業</b> 国際的に活躍する次世代リーダーとなる人材を育成するため、学生への経済支援と教育環境の整備を行います 庶務係 ☎ 052-789-2394 ☒ kikin@sci.nagoya-u.ac.jp	37	1,527 12,262	450 3,431	<b>【実績】</b> 理学部長顕彰：300千円（6名分）、理学部奨励賞：150千円（30名分） <b>【計画】</b> 理学部長顕彰：300千円（6名分）、理学部奨励賞：155千円（31名分）
<b>PhD 登龍門支援事業</b> 学生育英事業、海外研修支援事業、その他支援事業などを行います リーディング大学院推進機構本部 ☎ 052-789-5265 PhD 登龍門推進室 ☎ 052-789-5717	2	8 82,726	0 50,850	<b>【計画】</b> 学位プログラム確立に向けて検討中
<b>教育学部・教育発達科学研究科支援事業</b> 学習用施設の整備や教育研究支援等を計画・実施し、学部・大学院生及び若手研究者への支援・育成に取り組みます 教育学部特定基金事務局 ☎ 052-789-2602 ☒ kyoiku-kikin@t.mail.nagoya-u.ac.jp	12	11,160 31,477	3,625 7,975	<b>【実績】</b> 教育学部 KANG 奨学金：1,920千円（4名分）、学習用設備の整備（1,705千円）
<b>博物館支援事業</b> 社会と大学とをつなぐ「未来に活かす博物館」を目指して改装し、新たな展示コミュニティスペースの創設、博物館の機能拡充を目指します 特定基金事務局 ☎ 052-789-5767	14	565 3,033	0 0	<b>【計画】</b> 展示場や改装などの大規模な事業の実施は受け入れ金額的に難しいが、コミュニティスペースの拡充や地域貢献、展示など小規模な事業への活用を計画
<b>巨大災害から次世代を守る減災館支援事業</b> 体験型展示設備の更新、教材の開発や公開文献資料の充実、減災研究の若手研究者と展示室を運営管理する研究支援者の確保、子供から大人まで様々な方が参加する公開行事の拡充などを行います 減災連携研究センター ☎ 052-789-3468 ☒ fund@gensai.nagoya-u.ac.jp	29	2,373 12,341	4,959 7,915	<b>【実績】</b> 企画展や夏休みスペシャル減災教室等を実施し、来館者向けに最新情報の提供を実施した。減災館の備品、サーバーのセキュリティ対応、展示物の修理、展示担当職員の給与の一部に活用。
<b>数理学部学生支援事業</b> 世界で活躍する数理学部人材を育成するために、研究科学生の学習・研究を支援し、教育・研究環境の整備を行います 多元数理学部研究科 ☎ 052-789-2827 ☒ kikin@math.nagoya-u.ac.jp	40	558 5,965	0 0	<b>【計画】</b> 同窓会等の活動を通じて寄附の働きかけを行うとともに、学外の方に本事業の趣旨に賛同いただけるよう広報活動にさらに注力する
<b>人文学教育研究支援事業</b> 人文学の教育・研究に必要な資史料・図書などを有効活用できる環境を整えるとともに、若手人材の研究力向上、研究活動スペース等の整備、学術イベントの開催等を行っていきます 特定基金事務局 ☎ 052-789-2202 ☒ hum-sou@t.mail.nagoya-u.ac.jp	25	312 14,450	0 9,248	<b>【計画】</b> 図書室、図書収蔵スペース、研究活動スペースの整備・拡充、学術イベントの開催、学修支援事業等を計画
<b>創基150周年医学部基盤整備支援事業</b> 募集期間終了	0	0 213,523	48,126 213,524	<b>【実績】</b> 医学部メインストリート整備工事、ゲート工事等のキャンパス整備
<b>総合科学による古代エジプト調査研究支援事業</b> 研究資材の確保や現場調査の継続的实施、国内外の優秀な研究者との連携、優秀な URA（リサーチ・アドミニストレータ）・研究支援者・技術者の確保などを進めます 名古屋大学デジタル人文社会科学推進センター ☎ 052-789-2369 ☒ dhss-jimu@t.mail.nagoya-u.ac.jp	64	6,012 12,839	3,627 6,642	<b>【実績】</b> エジプト観光・考古省の許可を得て、上エジプトに7基の造営された小型ピラミッドの一つである「シンキのピラミッド」の発掘調査を実施した。基金は主に、その発掘調査費、研究資料の購入などに使用した。

事業名	2025年度 事業報告			
	支援事業の内容／お問い合わせ先	寄附件数 (件)	受入額(千円) ※下段は累計額	執行額(千円) ※下段は累計額
<b>名古屋大学漕艇部艇庫・合宿所等整備支援事業</b> ①艇庫・合宿所の建設、補強工事、補修等 ②競技や練習に必要な艇やオール、救助艇等の更新、修理等 ③艇庫・合宿所・艇の維持管理等 の漕艇部の活動に必要な支援を行います 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ✉ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	25	2,660 37,649	13,690 25,971	<b>【実績】</b> 艇庫改修部分負担費：13,690千円 <b>【計画】</b> 艇の購入（令和9年度）：3,000千円
<b>博士課程人材育成支援事業</b> ①博士課程教育プログラムの充実 ②博士課程学生が学業に専念できるよう、経済的支援を実施します ③博士課程教育環境の整備、施設・設備等のメンテナンスなどを行います ④卓越大学院 GTR・DII・TMI が行う事業です 事務室 基金担当 ☎ 052-789-5265 ✉ nu-hakase@t.mail.nagoya-u.ac.jp	14	794 5,619	0 0	<b>【計画】</b> 博士課程教育推進機構及び関係教育プログラムで連携を図り、幅広い支援を受けるための方策や、基金の活用方法を協議する
<b>次世代環境人材育成支援事業</b> 広角な視野、問題意識を有した「次世代の環境人材」の育成のための、学生支援事業、若手研究者支援事業、教育活動支援事業などを行います 大学院環境学研究科庶務係 ☎ 052-747-6421 ✉ kikin@env.nagoya-u.ac.jp	4	465 30,101	4,954 16,991	<b>【実績】</b> 次世代環境人材育成奨学金：2,200千円、フィールド教育支援：848千円、新分野チャレンジ：1,576千円、学生研究活動支援事業支援金：218千円、環境学研究科新講義科目「環境問題解決の最前線」開講（人件費）：112千円
<b>食と健康に関する学際的研究支援事業</b> 食と健康を巡る世界的な課題を解決するための、分野を超えた学際的・先端的な学術研究の推進を行います 学術研究・産学連携推進本部 ✉ fukai.masakatsu.b5@f.mail.nagoya-u.ac.jp	3	32 45,207	3,287 31,879	<b>【実績】</b> 「食と健康の未来創造研究公募事業」のR5年採択課題執行額：1,303千円、既存採択案件継続研究支援金：1,984千円を執行
<b>スタートアップエコシステム推進事業</b> 「起業前」から「起業後」のスタートアップの活動を総合的かつシームレスに支援し、スタートアップエコシステムの形成を促進していきます スタートアップエコシステム推進事業事務局 ☎ 052-747-6584 ✉ syakairenkei@t.mail.nagoya-u.ac.jp	5	2,357 6,394	1,558 4,604	<b>【実績】</b> OICX（東海国立大学機構オープンイノベーション拠点）における運営体制の整備及び入居者に対する支援を実施。機構内スタートアップの成長促進に資する活動支援（活動拠点の維持等）を実施。 <b>【計画】</b> 大学関係者の起業支援及び起業後支援に資する各種事業への活用予定。
<b>名古屋大学ヨット部運営支援事業</b> ヨット部の活動環境を向上し、継続的にインカレ等で上位の成績を取るための支援事業です 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ✉ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	11	570 3,070	0 0	<b>【計画】</b> 2027年度 レスキューボート購入：2,400千円
<b>名古屋大学陸上競技部運営支援事業</b> 今年度国立七大学対校陸上競技大会の開催、そして出雲全日本大学選抜駅伝競走の出場、また練習環境の整備、および大会や合宿の参加など、陸上競技部の運営を支援する 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ✉ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	61	1,426 1,834	564 765	<b>【実績】</b> 駅伝強化合宿実施費用一部補助 <b>【計画】</b> グラウンド備品の更新、合宿費用の補助
<b>名古屋大学アメリカンフットボール部運営支援事業</b> アメフト部が東海学生リーグで優勝し、全日本大学アメリカンフットボール選手権トーナメントに参加するために必要な活動及びチームの安全対策を支援する 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ✉ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	9	265 1,225	632 722	<b>【実績】</b> 新入部員に安全防具のフェイスガード、ネックロールを購入。安全管理の充実のため、老朽化した共用備品（ショルダー、ダウン表示）を更新。 <b>【計画】</b> 安全対策事業（高品質な防具や練習器具を導入して重大なケガの防止に努める）及び合同練習・試合参加支援で2,000千円。
<b>名古屋大学硬式野球部運営支援事業</b> 硬式野球部の練習環境の整備に加え、リーグ戦や七大会をはじめとする各種大会への参加、また充実したオープン戦の運営を支援する 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ✉ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	20	815 815	0 0	<b>【計画】</b> 消耗品（ボール、バット等）の取得 100千円

事業名 支援事業の内容／お問い合わせ先	2025年度 事業報告			
	寄附件数 (件)	受入額(千円) ※下段は累計額	執行額(千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
<b>NU シンガポール共創事業</b> シンガポールの教育機関と連携する本学の教育プログラムへの支援や本学のシンガポールでの研究・産学連携・スタートアップ事業促進を支援します 国際連携課 (NU シンガポール共創事業事務局) ☎ 052-788-6263 ☒ gmcteam@t.mail.nagoya-u.ac.jp	4	40 40	0 0	【計画】新規に設立する自走プログラムの Trail に使用予定：40千円
<b>名古屋大学ラグビー部運営支援事業</b> 東海学生ラグビーリーグや国際大学セブンズをはじめとする国内外の各種大会への参加や練習環境の整備など、名古屋大学ラグビー部の運営と安全対策を支援する事業です 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ☒ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	18	5,040 5,040	0 0	【計画】サポーター・テーピング類の購入、フィジカル増強のための食品類の購入及び外部コーチの導入検討：1,000千円
<b>名古屋大学サッカー部運営支援事業</b> 東海学生サッカーリーグをはじめとする大会への参加や練習環境の整備など名古屋大学サッカー部の運営と安全対策を支援する事業です 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ☒ shien-kagai@t.mail.nagoya-u.ac.jp	1	10 10	0 0	【計画】競技環境の整備を実施。撮影・分析機器の導入を検討：200千円
<b>若手研究者支援を推進する研究等支援事業</b> 博士号を取得しながらも安定的に従事する職が得られていない若手研究者及び学生（主として大学院生）を対象として、その者の研究者としての能力を向上させるために要する費用を助成します 教育推進部学生支援課 ☎ 052-789-2164 ☒ kenkyu-kikaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	19	2,638 12,373	0 0	【計画】若手研究者支援を推進するため、公募により選定されて参加する研究プロジェクトにおいて、自立した研究者として行う研究活動及び研究活動の成果発表等への支援に活用予定
<b>障がい学生支援事業（修学支援事業の一部）</b> 障がいのある学生に合理的配慮を提供するために必要な支援を目的としています 教育推進部 ☎ 052-789-2170 ☒ shien-shogaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	5	3,030 3,030	0 0	【計画】障がいのある学生に合理的配慮を提供するために必要な支援を実施予定
<b>留学生宿舍支援事業（修学支援事業の一部）</b> 外国人留学生と日本人学生が共同生活を営む寄宿舎のために必要な支援を目的としています 教育推進部 ☎ 052-789-2170 ☒ shien-shogaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	2	20 20	0 0	【計画】外国人留学生と日本人学生が共同生活を営む寄宿舎のために必要な支援を実施予定
<b>経済的困窮学生の修学支援事業</b> 経済的な理由で修学が困難な学生等に対して必要な支援を行い、能力ある学生の学ぶ意欲を応援します 教育推進部 ☎ 052-789-2170 ☒ shien-shogaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp	147	15,238 121,824	9,660 55,291	【実績】NU 奨学金：1,200千円、理学部奨学金：1,200千円、法学研究科ベトナム留学生奨学金：1,760千円、法学研究科アジア留学生奨学金：5,500千円
<b>企業によるエンカレッジメント奨学金事業</b> 民間企業からの寄附を対象とした、次代を担う優れた人材育成の支援に係る継続的な給付型奨学金事業です	7	8,000 30,500	6,500 23,000	【実績】寄附金受入8,000千円（2026年度事業分※一部2025年度奨学金分含む）、支出 6,500千円（2025年度事業分）（14名分※1名学業研究活動への専念が困難になったため返納あり）
計	1,308	212,699 2,667,783	184,718 975,569	

# 支援を受けた学生の声 ～2025年度名古屋大学基金感謝の集いより～

## 1. 海外派遣日本人学生奨学金受給学生

私は2024年の夏に、エディンバラ大学への短期語学留学に参加いたしました。

私が短期留学に挑戦しようと思った理由は、将来交換留学に挑戦したいと考えていたからです。そのために、まずは語学力を向上させたいという思いがありました。また、長期の交換留学に行く前に、海外での生活が実際にどのようなものかを自分自身で経験してみたいと考え、短期留学に応募いたしました。

しかし、留学を決意した当初、私にとって大きな不安となったのは経済的な負担でした。渡航費や滞在費など、多くの費用が必要となる中で、「本当に挑戦してよいのだろうか」「家族にこれ以上負担をかけてよいのだろうか」と迷うこともありました。そのような中で名古屋大学基金の奨学金をいただけたことは、経済的な支えであると同時に、「挑戦を応援していただいている」という大きな心の支えとなりました。その安心感があったからこそ、現地では不安にとらわれることなく、学習や交流に集中することができました。

エディンバラでは、エディンバラ大学の寮に滞在しました。私はそれまで、効率を重視するあまり、一人で行動することが多い性格でした。しかし、寮生活では、食事を共にしたり、課題について意見を交換したり、日常の何気ない会話を重ねたりする中で、自然と協力し合う関係が築かれていきました。困ったときにルームメイトが支えてくれた経験から、人と協力することの大切さを実感しました。

また、語学面でも大きな成長を感じました。授業でのディスカッションやプレゼンテーションでは、英語で自分の考えを論理的に伝えることの難しさを痛感しました。言いたいことがあっても、とっさに適切な表現が出てこず、もどかしさを感じることもありました。しかし、「間違いを恐れず発言

することが成長につながる」と考え、積極的に手を挙げることを意識しました。その結果、少しずつ自分の意見を自信を持って述べられるようになり、英語で議論することへの抵抗感も薄れていきました。そして帰国後に受験したIELTSでは、交換留学に必要なスコアを取得することができました。短期留学での努力が具体的な成果として形になったことは、大きな自信となりました。この経験は、次の目標へとつながる確かな一歩になったと感じております。

そして私は、2026年秋からシンガポール国立大学へ交換留学する予定です。エディンバラでの経験は、私にとって国際的な環境に挑戦する第一歩でした。次の留学では、培った英語力を土台に、工学の専門分野を英語で学び、多様な背景を持つ学生と議論しながら知識を深めていきたいと考えております。寮生活で学んだ「協力する姿勢」や「支え合う大切さ」を活かし、積極的に周囲と関わりながら、自らも周囲に良い影響を与えられる存在になりたいと考えております。

最後になりますが、このような貴重な挑戦の機会を与えてくださった名古屋大学基金のご支援に、心より感謝申し上げます。皆様のご支援があったからこそ、私は海外での一歩を踏み出し、次の目標へと進むことができました。この経験を自分自身の成長にとどめるのではなく、将来は国際社会の中で活躍し、その成果を社会へ還元することで、皆様のご支援にお応えしたいと考えております。

今後も感謝の気持ちを忘れず、挑戦を続けてまいります。  
(工学部2年 岩月 優弥さん)



私は約1年半前から10か月間、名古屋大学の全学間協定校である国立台湾大学で交換留学をさせていただきました。この際、名古屋大学基金から渡航費のご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

実は私は、交換留学へ行く前にも二度御基金のご支援をいただいております。一度目は、1年夏休みに参加させていただいたタイ研修、二度目は2年春休みに参加させていただいた台湾への短期留学です。2回の研修は私にとって、国際的な視野を広げ、海外で暮らす一歩を踏み出すための重要な経験となりました。タイ研修では、国際交流の面白さに目覚めた他、日本史にとどまらず広くアジアの歴史に興味を持つようになりました。台湾短期留学では、台湾の文化や歴史に直に触れ、より多角的に学びたいと思うようになり、中国語学習への意欲が更に高まりました。

タイや台湾は比較的近いとは言え、何度も渡航することは金銭的負担が非常に大きいです。私が「行きたい」という気持ちのままに、二度の短期研修に参加し、交換留学も実現できたのは、何より皆様のご支援をくださったおかげです。心より感謝を申し上げます。

交換留学中は授業、課外活動ともに本当に充実した日々を送らせていただきました。

留学開始当初は中国語が伝わらず英語で対応され、歯がゆく感じることが多々ありました。そのため中国語については、スピーキング力向上に焦点を当てて勉強しました。業後は大学の書道部や台日交流会に参加し、台湾の人たちとの交流の

機会を意識的に増やしました。後期開始前のクラス分けスピーキングテストでは、クラスを二段階上げよりレベルの高い仲間に刺激を受けつつ勉強することができました。日々表現の幅が広がっていくことが嬉しく、中国語表現を想起し、わからない単語を調べることが習慣になりました。

また、現地学生に混じって授業を聞いたり、博物館や歴史的建造物を巡ったりしたことは台湾史を学ぶにあたって大きな経験となりました。台湾史の授業でありながら出てくる人物は日本人ばかりだったこと、町を歩くと日本統治時代の建築が多く残っていること、台湾語には日本語由来の言葉が多く含まれていることなど、現在も人々の日常生活や心の深いところに日本の影響が色濃く残っていると実感しました。一日本人として、また歴史を学ぶ一学生として、貴重な学びとなりました。

最後に、支援していただいた留学生仲間を代表して、私たちにこのような素晴らしい経験の機会を与えてくださった皆様に改めて心から感謝申し上げます。留学で得た学びや、新たにできた友人すべてが私たちの一生の宝物です。温かいご支援本当にありがとうございました。

(文学部4年 森 瑞稀さん)



## 2. G30学部留学生奨学金受給学生

私はハンガリーの首都、ブダペストから参りました。日本に来るまでは、両親と妹と共に暮らしていました。私は幼いころから自然科学に深い関心をもっており、その思いは成長するにつれ益々強くなっていきました。小学生のころから特に生物学を学びたいという気持ちを持ち続けていました。両親は常に教育を最優先に考え、私の科学への関心を支えてくれました。両親が何より望んでいたのは、私がハンガリーだけでなく、世界でチャンスを掴めるようになることでした。実は、ここ数年の政治的な問題の影響で、私の国では学問の自由や研究機関、大学の独立性が脅かされています。研究者たちも資金援助者や国際的な共同研究者を見つけることが難しくなっています。そのような経緯もあって、高校に入った頃から、両親は私に語学や勉学に励み、外国の大学を目指すよう勧めてくれました。

私は数年前から日本文化に興味を持ち、日本語の勉強を続けてきました。しかし、当時の語学力では一般的な大学のプログラムに入学することは難しかったと思います。そんな中で、名古屋大学のG30国際プログラムに出会えたことは、まさに奇跡のようでした。このプログラムのおかげで、自分が本当に学びたい分野を、得意な英語で学ぶことができます。それに加えて、日本語を磨きながら、以前から情熱を注いできた日本文化を探究することができます。家族の中で、外国の大学に進学するのは私が初めてです。両親は私の留学を支えてくれていますが、同時に故郷から遠く離れた地に一人で暮らすことへの不安もありました。奨学金をいただくと決まったとき、授業料の心配をせずに学業に集中できると知り、大きな安心感を覚えました。さらに、安全で学術、科学分野が盛んな日本で学べるという喜びは、最初に感じた不安をはるかに上回るものです。このような貴重な機会をいただけた

ことを、心より感謝申し上げます。

この一年半で、私は新しい生活に慣れ、多くのことが変わりました。名古屋大学で学ぶ機会と皆様のご支援のおかげで、学生として多くの経験を積み、成長することができました。素晴らしい先生方に出会い、生物学への探求を深めながら日本語の学習を続けることができました。競技ダンス部にも参加し、日本の部活文化に触れ、言語の壁を乗り越えながら新しい友人たちと出会うことができました。また、私と同じように母国を離れ、日本で精一杯頑張ることを決意した才能ある学生たちと親交を深めることもできました。

私の夢は、遺伝学の研究者になることです。特に、遺伝子が胎児の発達や疾患にどのような影響を与えるかについて強い関心を持っています。卒業後は大学院に進学して知識を深め、ほかの研究者と協力しながら研究に取り組みたいと思っています。世界的に高い教育水準と科学研究で知られる名古屋大学で学び、実験し、研究できることを大変光栄に思います。さらに、岡崎恒子、令治先生のような世界的に有名な研究者たちが学び、研究を行った大学の学生であることは、この上ない誇りです。このことが、一生懸命学び、努力する原動力となっています。私の世界と人間への好奇心が、いつか人類の役に立つ成果を生み出すことが、私の最大の願いです。皆さまのくださったこの機会のおかげで、私を含む多くの意欲のある学生たちが、日々目標に近づくことができている。心からの感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。  
(理学部2年生 ボルバーラ デーリアさん)



## 名古屋大学基金へのご寄附

**名古屋大学基金**は、ご寄附を元金として大切に育て、その収益で教育・研究を支え続ける**エンダウメント型基金**です。また、ご希望に応じて、特定の学部や研究、学生支援などを指定する「特定基金」として、想いを託すこともできます。

### 名古屋大学への想いを、これからも、かたちに。

#### 現物寄附や遺贈によるご寄附も

現金によるご寄附のほか、株式・有価証券などの現物寄附や、遺贈によるご寄附についてもご相談を承っています。大切に積み重ねてこられた想いを、未来の名古屋大学へつなぐ選択肢として、ぜひ知っていただければ幸いです。

#### 税制上の優遇措置

ご寄附は、税制上の優遇措置を受けることができます。(所得税・住民税の軽減/法人の場合は損金算入)

詳細はこちら▶



#### 寄附のお申込み方法

クレジットカード、PayPay、銀行振込など、気軽にお申込みいただける方法をご用意しています。

寄附のお申込みはこちら▶



皆さまの想いが、  
名古屋大学の未来を  
支えています！

名古屋大学基金 (NU Foundation)  
アンバサダー “ニューファン”

#### お問い合わせ先

名古屋大学 Development Office (DO 室)

TEL : 052-789-4993

E-mail : do@kikin.nagoya-u.ac.jp

公式サイト : <https://kikin.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学基金▼

